

平成24年6月5日

# 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	広報紙発行事業
事業実施前の状況	事務費予算の範囲内で年1回発行。(白黒印刷)
事業実施後の状況	カラー刷りの広報紙を、年3回地域内全戸配布できた。 (22年度以降継続)
事業の効果	各種地域内団体の活動紹介をとりあげることができ、回数もふえたので地域への活動内容のPRができた。
今後の課題	新規協議会メンバー・安全パトロールボランティアを継続して広報紙で募集を続けることが必要。

# 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



## 記

事業の名称	安全パトロール実施事業
事業実施前の状況	PTAによる登校時の見守り活動は通学路を中心に実施されていたが、下校時を含め校区全体の安全パトロール体制がなかった。 H20年度からパトロールを開始することになった。
事業実施後の状況	電動自転車による安全パトロール体制ができ、ボランティアを中心に下校時の校区内安全パトロールが実施された。(平成21年1月以降) 平成22年度につづき、継続して実施できた。(ボランティアも増加)
事業の効果	安全パトロールによる直接の目につく効果はないが、地域住民に少しずつパトロール実施が認識されてきて、防犯意識の向上に役立っている。 電動自転車3台追加購入し、小柄な人でも参加できるようになった。
今後の課題	ボランティア人員の確保・増員(現状15名)が必要。

# 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	ハザードマップ作成事業
事業実施前の状況	池田市全域のハザードマップしかなく、大判なので掲示しにくい。
事業実施後の状況	神田地区限定のハザードマップをA3判で作成、全戸配布するとともに、地域内の掲示板に掲示することにした。 (消火栓の設置場所の表示を追加) また、新たに神田地区の住民になった人にも配布することにした。 A3判になったので、冷蔵庫等日常目につく場所に掲示が可能になった。
事業の効果	常に目につく場所への掲示が可能になり、有効に活用されるようになった。
今後の課題	市で新たなハザードマップ情報ができれば、神田地区版としてA3判での作成が必要。

平成24年6月5日

# 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	地域イベント備品整備事業
事業実施前の状況	老人招待昼食会等地域行事に、小学校の古い机等を活用していた。 高さのばらつき等があり、設営に苦勞。
事業実施後の状況	22年度は一部しか購入できなかったが、23年度に必要数量が整備でき、 地域行事の設営が簡単にできるようになった。
事業の効果	設営が簡単になり、また、会場の雰囲気もよくなった。
今後の課題	保管場所を学校と協議すること。(可能であれば、1階に保管できれば より使いやすくなる。)

# 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	地域行事等活動促進事業
事業実施前の状況	神田小学校区盆踊り大会が、地域の寄付・市からの定額支援で実施されており、出店等の収益で予算不足をカバーしていた。
事業実施後の状況	市からの定額支援より多くの金額の支援ができた。
事業の効果	地域行事の活性化が図れた。
今後の課題	毎年、助成必要金額の検証が必要。

平成24年6月5日

# 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	キッズランド用備品購入事業
事業実施前の状況	キッズランドのパソコン教室用備品が不足し、十分な活動ができなかった。
事業実施後の状況	パソコン教室として必要なトナー、用紙類を支援することにした。
事業の効果	パソコン教室事業の充実及び参加者の増加が図れた。。
今後の課題	毎年、備品購入必要金額の検証が必要。

# 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	市民レクリエーション大会事業
事業実施前の状況	神田小学校区住民運動会が、地域の寄付・市からの定額支援で実施されており、予算不足を盆踊り収益等でカバーしていた。
事業実施後の状況	市からの定額支援より多くの金額の支援ができた。
事業の効果	地域行事の活性化が図れた。
今後の課題	毎年、助成必要金額の検証が必要。

# 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	水路転落防止柵設置事業
事業実施前の状況	農業用水路に転落防止柵がない箇所が多い。 (PTAアンケート調査でも指摘)
事業実施後の状況	平成20年度申請で未実施個所の防護柵設置がすべて完了。
事業の効果	実施した場所については水路等への転落の危険は減少した。
今後の課題	安全パトロール実施中に新たに見つかった危険な場所については、 24年度に「危険」の看板を設置予定。



# 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	公園水飲・手洗い場整備事業
事業実施前の状況	神田地区内の2か所の公園に水飲・手洗い場がなかった。
事業実施後の状況	2か所の公園に、車椅子対応型の水飲・手洗い場が設置された。
事業の効果	子供たちをはじめとする使用者の衛生面の充実、夏場での水分補給ができるようになった。
今後の課題	水飲・手洗い場の不備・故障が無いかな等定期的なチェックが必要。

# 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	街路灯強化事業
事業実施前の状況	街路灯不足・照度不足が多く指摘されていた。 (放火事件発生を受けた自主防災会・消防団による夜間パトロールで指摘)  平成20年度要望のうち、土地所有者の承諾書関係で23年度に繰り越したものがあつた。
事業実施後の状況	20年度に町会・自治会から要望のあつたうち、23年度に繰り越した案件を中心に街路灯新設・照度アップを実施、校区内の夜間が明るくなった。
事業の効果	校区内の夜間が明るくなったことにより、放火等への牽制効果が出ていると思われる。
今後の課題	町会・自治会組織の無い地域の街路灯強化が必要。  農地隣接の場所等に設置する場合は、高さ・向き等の調整が必要。  私有地に設置の場合地主の承諾書が必要となつたが、地主をどのように調査するか検討が必要。